



# 山形県感染症発生動向調査

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)  
TEL.023-627-1109, FAX023-641-7486  
URL <http://www.eiken.yamagata.yamagata.jp/>  
2016年11月29日 発行

平成28年第47週(11月21日~11月27日)

## <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少 ※     :警報レベル     :注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第46週	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	6843 1.38	23 0.48	33 0.69	▲	3 0.15	△		1 0.20	△		3 0.30	10 1.00	▲	20 1.54	19 1.46	▽	14033
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	3499 1.11	73 2.43	38 1.27	▼	44 3.38	27 2.08	▼	3 1.00	1 0.33	▼	21 3.50	7 1.17	▼	5 0.63	3 0.38	▼	1474
咽頭結膜熱	984 0.31	9 0.30	11 0.37	△	6 0.46	9 0.69	△							3 0.38	2 0.25	▽	686
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	7000 2.22	221 7.37	210 7.00	▽	122 9.38	101 7.77	▽	2 0.67		▽	54 9.00	46 7.67	▽	43 5.38	63 7.88	▲	6648
感染性胃腸炎	41442 13.12	476 15.87	706 23.53	▲	237 18.23	323 24.85	▲	23 7.67	53 17.67	▲	160 26.67	246 41.00	▲	56 7.00	84 10.50	▲	8684
水痘	1598 0.51	36 1.20	23 0.77	▽	11 0.85	14 1.08	▲				12 2.00	2 0.33	▽	13 1.63	7 0.88	▽	525
手足口病	2300 0.73	8 0.27	6 0.20	▼	7 0.54	2 0.15	▽				1 0.17	3 0.50	△		1 0.13	△	383
伝染性紅斑	378 0.12	1 0.03		▽										1 0.13		▽	1458
突発性発しん	1369 0.43	18 0.60	16 0.53	▼	8 0.62	5 0.38	▼	1 0.33		▼	7 1.17	6 1.00	▽	2 0.25	5 0.63	△	901
百日咳	34 0.01	1 0.03		▽	1 0.08		▽										20
ヘルパンギーナ	453 0.14	14 0.47	17 0.57	▲	6 0.46	8 0.62	▲	2 0.67	2 0.67		5 0.83	5 0.83		1 0.13	2 0.25	△	2927
流行性耳下腺炎	3046 0.96	57 1.90	50 1.67	▽	24 1.85	16 1.23	▽	8 2.67	4 1.33	▼	25 4.17	28 4.67	▲		2 0.25	△	2774
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	-																1
流行性角結膜炎	490 0.71	3 0.38	1 0.13	▽	2 0.50	1 0.25	▽	1 1.00		▽							65
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	20 0.04																20
クラミジア肺炎	9 0.02																4
マイコプラズマ肺炎	624 1.32	9 0.90	8 0.80	▽	2 0.50	3 0.75	△	1 1.00	1 1.00			2 1.00	△	6 2.00	2 0.67	▽	151
細菌性髄膜炎	7 0.01		1 0.10	△		1 0.25	△										7
無菌性髄膜炎	20 0.04																13

## <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者				1	
	無症状病原体保有者			1		
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	患者				2	※第45・46週追加報告分。90日間海外渡航歴無し 2件
後天性免疫不全症候群	無症状病原体保有者				1	※第46週追加報告分。

## <通信欄>

※感染性胃腸炎の定点当たり報告数が、県平均で警報レベル(開始基準20人、終息基準12人)を上回ったことから、県は11月29日に、「感染性胃腸炎警報」を発令しました(参照:2ページのトピックス)。

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

<定点把握感染症 報告患者数 年齢別>

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ	1		1		1	2	3	1		5		10	2	4	合計
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79	80歳～									
	1		1			1									
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	4	7	18	5	3	1									38
咽頭結膜熱			5	1	1	2	2								11
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	9	6	10	26	27	21	27	20	15	42	4	2	210
感染性胃腸炎	5	21	68	75	74	83	81	77	38	49	36	64	4	31	706
水痘	1	3	5		2	3	3	3	2	1					23
手足口病		2	2	2											6
伝染性紅斑															
突発性発しん		5	10	1											16
百日咳															
ヘルパンギーナ		3	4	1	1	4		3			1				17
流行性耳下腺炎			1	2	3	11	16	9	3	2	1	1	1		50

<平成28年10月 月報>

2016年11月22日 更新

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～10月	
	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月	9月	10月		
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	16	24	7	11	4	10	3	2	2	1	191
	定点当り	1.60	2.40	1.75	2.75	4.00	10.00	1.50	1.00	0.67	0.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	4	9	1	3	1	1	2	4		1	62
	定点当り	0.40	0.90	0.25	0.75	1.00	1.00	1.00	2.00		0.33	
尖圭コンジローマ	報告数	4	3	4	1				1		1	29
	定点当り	0.40	0.30	1.00	0.25				0.50		0.33	
淋菌感染症	報告数	4	4		1			2	1	2	2	22
	定点当り	0.40	0.40		0.25			1.00	0.50	0.67	0.67	
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	1	4			2			1	2		55
	定点当り	0.10	0.40			2.00			0.33	0.67		
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	13	22	4	11	3	1	2	1	4	9	173
	定点当り	1.30	2.20	1.00	2.75	3.00	1.00	1.00	0.50	1.33	3.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											
	定点当り											

<トピックス>

【インフルエンザ情報】

1 定点医療機関情報(第47週)

迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数

- 村山地区: A型 3件
- 最上地区: A型 1件
- 置賜地区: A型 9件、B型 1件
- 庄内地区: A型 19件

2 インフルエンザウイルス分離状況(衛生研究所 11月24日現在)

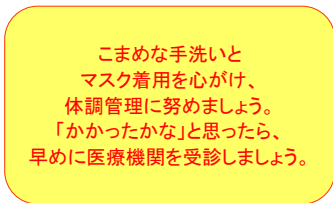
今シーズン、県内では、AH1pdm2009型 2株、A香港型 2株が分離されています。

3 集団発生状況(県健康福祉企画課まとめ 第47週)

- 置賜地区: 小学校 1件
- 庄内地区: 幼稚園 1件

インフルエンザは、毎年、冬に流行し、私たちの健康に大きな影響を及ぼす代表的な呼吸器感染症です。感染力が強く、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が拡大します。

手洗いでインフルエンザを予防し、かかったら、マスク等咳エチケットを心がけましょう。



こまめな手洗いとマスク着用を心がけ、体調管理に努めましょう。「かかったかな」と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

【感染性胃腸炎情報】

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、県平均で23.5人となり警報開始基準を超えたため、山形県は11月29日に感染性胃腸炎警報を発令しました。地区別では、村山地区は24.9人、置賜地区で41.0人で警報レベルとなっています。

【警報開始基準値: 20人 警報終息基準値: 12人】

感染性胃腸炎とは

感染性胃腸炎は、冬季に患者数が増加し、その大半はウイルス感染によるものと推測される感染症です。また、年末の集団発生例の多くは、ノロウイルスによるものと考えられています。

【症状】病原体によって異なりますが、主な症状は嘔吐、下痢、発熱です。

治療は、ウイルス性のものであれば対処療法が中心となります。

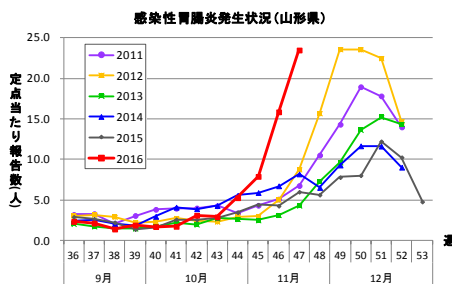
【予防法】最も重要で、効果的な予防法は「流水・石けんによる手洗い」です。トイレ後、外出後、調理前、配膳前、食事前など、こまめに手洗いをしましょう。

特にノロウイルスは感染力が強く、注意が必要です。

二枚貝を調理する際は中心部まで十分に加熱し、使用した器具は熱湯消毒しましょう。

嘔吐物や下痢便にはノロウイルスが大量に含まれています。処理する際は、マスク・手袋を着用してください。

消毒は塩素系消毒剤で行う必要があります。消毒に家庭用漂白剤を使用する場合は、200倍程度に薄めて使用して下さい。



※参考URL: IDWR 2012年第43号<注目すべき感染症>感染性胃腸炎 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/intestinal-m/intestinal-idwrc/2923-idwrc-1243.html>